

《担当者名》 歯学部教授 / 齊藤 正人 歯学部講師 / 倉重 圭史
歯学部助教 / 榊原 さや夏 歯学部助教 / 蓑輪 映里佳

【概要】

これまでに学んだ小児歯科学総論・各論を復習・整理し、知識の再確認する。

【学修目標】

小児の身体および精神の成長発達を理解し、小児に対する対応・介助法を習得する。
小児歯科の診療における各処置の術式・使用器具・注意点を習得する。
口腔衛生指導を習得し、患者管理について理解する。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1) 3	小児歯科学総論	小児の身体および精神の成長発達、小児顎顔面および歯の発育・萌出・交換の時期を理解できる。 小児の歯科的対応法について理解できる。	齊藤 正人 倉重 圭史 榊原 さや夏 蓑輪 映里佳
4) 6	小児歯科学各論	小児歯科診療における各処置の術式・使用器具・注意点を理解できる。 小児の口腔衛生指導・患者管理法を理解できる。 小児歯科診療補助について理解できる。	齊藤 正人 倉重 圭史 榊原 さや夏 蓑輪 映里佳

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

卒業試験100%

【教科書】

「最新歯科衛生士教育教本 小児歯科」 全国歯科衛生士教育協議会監修 医歯薬出版
その都度講義プリントを配布する。

【学修の準備】

前年度までの教科書および講義資料、プリントを整理し内容について復習しておくこと（80分）。
講義後は復習していくこと（80分）。

【実務経験】

齊藤 正人（歯科医師）、倉重圭史（歯科医師）、榊原さや夏（歯科医師）

【実務経験を活かした教育内容】

小児歯科学とは、小児の口腔機能の正常な発育を図るために、これを障害する異常や口腔疾患の予防と治療を行い、健全な機能をもつ総合的咀嚼機能器官を発育、小児の全身的発育と保健に寄与する科目である。多くの実務経験を背景とした体験談や症例を例示することで、優れた教育効果が期待できる内容となっている。